

2021（令和3）年度 入学者選抜試験問題

一般選抜Ⅰ期

国語総合（近代以降）（60分）

注意事項

1. 監督者の指示があるまで問題を開かないでください。
2. 問題冊子は14ページあります。ページの落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、無言で手を高く挙げて監督者に知らせてください。
3. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に氏名、受験番号をそれぞれ正しく記入してください。
4. 解答は、次の（例）を参考にし、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。

（例）解答番号1に対して、⑤と解答する場合

解答番号	解答記入欄
1	① ② ③ ④ ⑤

5. 解答用紙に正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 訂正箇所は、消しゴムできれいに消してください。
7. 解答欄には、関係のない符号や文字あるいはメモなどを記入しないでください。
8. 解答用紙を折ったり汚したりしないでください。
9. 声を出して問題を読んではいけません。
10. 不正行為について
 - ①不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ②不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が直接注意します。
 - ③不正行為が確認された場合は、すべての科目が失格となります。
11. 質問のある場合や気分が悪くなった場合は、無言で手を挙げて監督者に知らせてください。
12. 問題用紙は持ち帰ってください。

国語

(解答番号は 1 ～ 38)

1 次の文章を読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。なお、設問の都合で本文の段落に1～12の番号を付してある。解答番号は 1 ～ 12。

1 我々が英語などの外国語を学ぶ際は一般的に、単語の意味や文法的法則を意識的・意図的に学び、(ア) 顕在学習していきます。一方、第一言語である日本語は、単語や文法などの知識がない乳幼児などでも潜在学習していくことができ、さらに流暢りゅうちやうに使いこなすことまでできるようになります。このように、潜在学習によって学んだ第一言語の方が、文法法則などを体系づけて効率的に学んでいるはずの第二言語よりも、結果的に流暢に言葉をはしゃぐようになるのです。

2 A、第一言語を学ぶ「(注1) 臨界期」は(注2) シナプス結合が活発に起こるため、学習方法というよりは、そういった神経生物学的な要因も大きく影響しています。B、近年の研究からも、潜在学習と顕在学習はそれぞれ長期記憶と短期記憶に向いていることや、神経科学的(イ)メカニズムに違いがあることも示されています。

3 C、潜在学習は手続き学習ともいえるもので、スポーツやピアノ演奏などでもわかるように臨界期を過ぎた後であつてもなされる学習メカニズムです。よつて、もし潜在学習で第二言語を習得できれば、いわゆる「歩く」などのように意識せずとも自然と外国語を使いこなすことができるのではないかという主張が、多くの研究者によつて報告されています。つまり、幼児だけでなく成人であつても、顕在学習より潜在学習の方が、最終的に外国語を流暢に使いこなせるようになるのではないか、というわけです。

4 もしDの仮説が正しければ、外国語を使いこなすための最適な手法は、単語の意味や文法的法則を意識的に学ぶ前に、スポーツのように経験と練習を繰り返しながら、感覚的に学んでいく方が良いということになります。もちろん、理論(顕在学習)が必要ないというわけではありませんが、潜在学習を基盤に置いた上で、補完的に顕在学習を活用するという方法の方が良いのかもしれません。

5 ヒト以外の動物はそもそも、ヒトが使用するような複雑な構造を持った言語を使用しないので、知識を体系づけて教科書のようなものに理論をまとめ、そこから顕在的に学んでいくといった(ロ)プロセスを踏みません。親が子に見本を見せて、子供はその見本を真似まねながら自分の頭で考えて、身体で覚えていくのです。

6 とはいえ、ヒトも「歩き方」などは親や周りの行動を真似て身体で覚えていきます。心理学者

(注3) スコット・バリー・カウフマンらの実験により、潜在学習能力が高ければ高いほど、外国語の学習能力も高くなることが示されています。

7 例えば、何も勉強せずに異国の地に住みつき、自然と現地語で話せるようになっている人は沢山います。彼らはもちろん、多かれ少なかれ現地で語学を体系つけて顕在的にも勉強していると思いますが、一日の中で意図的・意識的に顕在学習する限られた時間よりも、意識にかかわらず、睡眠中も含めて24時間ずっと現地の言語に触れて潜在学習している時間の方がずっと長いのです。短時間で記憶し、すぐにそれを使いたいならば顕在学習の方がよいでしょう。しかし、いつでも瞬発的に、また(イ)生涯使用できるようにするためには潜在学習の方が得意なのだといえます。

8 潜在学習の良い点、顕在学習の悪い点ばかり述べてしまいましたが、顕在学習にも、潜在学習にはない素晴らしい利点があります。特に、顕在学習は、(ウ)宣言的学習とも呼ばれるように、“言葉”で説明できるような記憶を作ります。このことから、自分の気持ちや状況を正しく伝えたり、コミュニケーションを(エ)円滑にしたりするためには顕在学習が(オ)必須です。

9 さらに、“言葉”で説明できるということは、地球上の生物の中でも、言語機能を持っているヒトに特有の学習機能であるといえます。言語の論理的構造は非常に複雑です。しかし、この複雑さゆえヒトは、凄く複雑な感情すらも正しく相手に伝えることができ、そして他者とその感情を共有(共感)することができます。また、(カ)謙譲語や丁寧語などを学ぶ際にも、知識を体系づけて学ぶ顕在学習が必須でしょう。このように、顕在学習は、進化したヒトだからこそできる学習ともいえます。

10 一方、日常会話に関してはそこまで難しい文法や単語を要求されることはあまりありません。成人の日常会話においてもほとんどは、子供でもわかるような言葉で会話していると思います。非常に単純である一方、日常会話では言葉に感情を込めて、いわゆる感情の発生とともにそれを言葉で瞬発的に表現することができます。どのレベルまで外国語を学ぶかにもよりますが、少なくとも日常会話レベルの言葉をスムーズに使うのが目的であれば、何度もアウトプットを繰り返して潜在学習をしていくことが一番大切であるといえます。日本の学校教育では、ほぼ100%「顕在学習」だけで学習しようとするので、顕在的に表現する「読み書き」ができて、直感的に表現する「会話」が苦手なのです。

11 このように、顕在学習と潜在学習の特性をしっかりと理解した上で、目的や状況に合わせて上手く組み合わせながら最適な学習方法を選択していくのが大切なのです。

(大黒達也『芸術的創造は脳のどこから産まれるか?』より。)

- (注) 1 臨界期 — ここでは、ある能力を身につけるのに適切な、限られた時期のこと。
- 2 シナプス結合 — 神経細胞と神経細胞との結合。
- 3 スコット・バリー・カウフマン — アメリカの心理学者（一九七九年～）。

問1 傍線部（ア）～（オ）の漢字の読みとして最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

- (ア) ① ぎぎい ② けんぎい ③ せんぎい ④ そんぎい
- (イ) ① しょうがい ② しょうけい ③ せいがい ④ せいけい
- (ウ) ① ぎげん ② ぎごん ③ せんげん ④ せんごん
- (エ) ① えんかつ ② えんけつ ③ えんこつ ④ えんたつ
- (オ) ① ひつし ② ひつしゅう ③ ひつす ④ ひつち

問2 傍線部（a）・（b）の本文中での意味として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

- (a) ① 理論 ② 運動 ③ 仕組み ④ 発達
- (b) ① 場面 ② 経験 ③ 形態 ④ 過程

問3 空欄 ～ に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① A もちろん B しかし C そもそも
- ② A ところで B そして C いったい
- ③ A たしかに B けれども C つまり
- ④ A このように B また C そのうえ

問 4 傍線部 D「この仮説」とあるが、どういう仮説か。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

- ① 大人が外国語を自国語のように使えるようになるためには、従来のように文法法則などを体系づけて短期間で学ぶよりも、スポーツのように経験と練習を繰り返しながらじっくりと潜在学習をする方がよいのではないか、という仮説。
- ② 何も勉強をしなくても外国語に触れながら生活をしている幼児がその外国語を覚えることができるように、大人の場合も外国語を覚える場合には顕在学習より潜在学習の方が向いているのではないか、という仮説。
- ③ 第一言語を学ぶためにシナプス結合が活発に起きる時期があるが、その時期を過ぎたとしても、顕在学習より潜在学習の方が、最終的に外国語をよどみなく使えるようになるのではないか、という仮説。
- ④ 幼児が文法などを学ばずに潜在学習で言語を身につけるように、文法法則などを体系づけて学習できる大人の場合も、自然に話せるようになるためには顕在学習より潜在学習の方が効果的なのではないか、という仮説。

問 5 傍線部 E「謙讓語や丁寧語などを学ぶ際にも、知識を体系づけて学ぶ顕在学習が必須でしょう」とあるが、筆者がそのように考える理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

- ① 謙讓語や丁寧語などは、自分の気持ちや状況を正しく伝え会話を円滑にするものなので、直感的に会話ができるようになる顕在学習でなくては学べないから。
- ② 謙讓語や丁寧語などは、社会的人間関係を把握したうえで言語的操作を施すことが必要なので、意図的・意識的に行う顕在学習でなくては身につかないから。
- ③ 謙讓語や丁寧語などは潜在学習によつて身につけようとすると多くの経験が必要となるので、顕在学習で敬語の意味や文法的法則を効率的に学ぶ方がよいから。
- ④ 謙讓語や丁寧語などは単語や文法などの知識がない乳幼児には学習できないので、潜在学習による日常会話を基盤に置いて、補完的に顕在学習するべきだから。

問 6 この文章の構成と表現・内容について、次の (i) (ii) の問いに答えよ。

(i) この文章を四つの段落に分ける場合の段落分けとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① ・・ / ・・・ / ・・ /
- ② ・・ / ・・ / ・・ / ・
- ③ ・・・ / ・・ / ・ / ・
- ④ ・・・ / ・ / ・・・ /

(ii) この文章の表現・内容に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「顕在学習」と「潜在学習」とを対比させて説明することで両者の有効性を明確に理解させ、何かを学ぶ際には自分の状況や学習の目的を見極めて学習方法を工夫することが大切だということをわかりやすく伝えている。
- ② 大人と子供の外国語の習得の仕方の違いを具体例に挙げて、「顕在学習」と「潜在学習」の特性をしっかりと説明したうえで、目的や年齢などの状況に合わせて両者を上手く組み合わせて学習することの大切さをわかりやすく伝えている。
- ③ 第一言語と第二言語、スポーツとピアノ演奏といった具体例を用いて説明することで、学習方法を工夫しさえすれば、ヒトは何歳になってもさまざまなことを学習できるということをわかりやすく伝えている。
- ④ ヒトに特有の学習機能である「顕在学習」と、ヒト以外の動物にも見られる「潜在学習」とを対比することで、真似る学習と言葉による学習との相違点を明らかにし、ヒトにしかできない学習方法の工夫の仕方をわかりやすく伝えている。

二 次の文章を読んで、後の問い（問1〜6）に答えよ。解答番号は ～ 。

日本人にとって、気が楽になるとか、心持ちが落ち着くとか、肩の荷が下りた気がするとかいうのは「自由を達成した」からではないんです。【I】すべての外的な干渉を退けて、自分の思いの通りのことを実践するということを日本人はほんとうは望んでいない。だって、そんなの大変そうだから。それよりは、ほっとしたい、気楽でいたい。

集団の中にいると、さまざまな相互に矛盾したり対立したりする要請を調整しなければならぬということがあります。それがうまく折り合つて、「落としどころ」に話が落ち着いたら、日本人は解放感と達成感を覚えます。リフ（ア）ジンを要求をされても、身勝手なことを言われても、それでも、あちこち走り回り、あちらの顔も立て、こちらの言い分も通して……というような困難な調整を果たして、もろもろの干渉が相互にソウ（イ）サイされて、A一種の「コントロール」状態を達成したときに、日本人はなぜか深い満足感を覚える。これはどう考えても、ヨーロッパ的な「自由」とは似ても似つかぬものです。

ヨーロッパの（ウ）マチでびつくりさせられるのは夏の終わりの少し肌寒い日に「もう」毛皮のコートを着ている人と、「まだ」半袖半ズボンの人が並んで歩いている風景を見ることです。彼らは自分の身体感覚に従って何を着るか決めている。他人が何を着ようと気にしない。その「周りを気にしない」様子を見ると、「ああ、これが自由というものなんだな。日本人にはないなあ」と思います。

もちろん、日本にも「周りを気にしない様子」をする人はいますけれど、そういう人は「周りを気にしないオレってすごい」「オレは じゃないんだぜ」ということをうるさくアピールしてくる。自由であるべきときにすでに肩肘張っている。それは周りが半袖でも、「オレは寒いから」と毛皮を着ている人の「自由」とは質が違います。

だから、日本人はヨーロッパ的な意味での「自由」を求めていないんじゃないかと思います。だって、日本社会で「私は自由に生きています」とアピールする人は（エ）ソウじて緊張しているから。でも、おでこに「私は自由人です。 ちやいます」というシールを貼って、こまめに周りの承認を求めようとするなんて、ヤ（オ）カですよ。

ユーラシア大陸の辺境に位置する日本列島には、外から次々と新しい集団が到来し、新しい文物が流入しました。そして、そのつど対立せず、排除せず、折り合いをつけてきた。「そちらにはそちらのお立場が、こちらにはこちらのメンツが。どうです、一つナカとつて……」というのが日本における問題解決のもっとも成熟したマナーでした。

それは正解を得るための方法ではないのです。いざこざを避けるための作法です。原理を貫徹する、信教や思想に殉じるということを日本人はあまり好まない。それよりは非妥協的な対

立を折り合わせる調整能力が尊ばれる。

(注1) 大岡裁きの「三方二面損」なんていう(注2) ソリユーションはヨーロッパ人はまず受け付けてくれないでしょう。なぜきちつと決着をつけないのか。と。(注3) サンデル教授の「ハーバード自熱教室」つてありましたけど、日本人だったら、「さあ、正解はどつちだ」と切り立てられたら、「まあ、そう言わずに、どうですお茶でも一杯」というかたちで「自熱しない」方向に誘い込もうとするんじゃないでしょうか。

ハリウッド映画を見ていると、組織内でさまざまな利害や立場が衝突して大変険悪になるという場面によくお目にかかります。でも、あれこれの言い分にすべて耳を傾けて、全員が納得するような「あつと驚く落としどころ」を提案する上司というのは、映画の中ではまず見ることはありません。激烈なディベートのあとに、最終的に誰かの意見が「正しい」ということになって、意見が通らなかつた者は憤然と席を蹴つて会議室を出てゆく。これが欧米風なんだろうと思います。

自分のやりたいことを旗幟鮮明に掲げて、その(注4) アジェンダに賛成する人間を登用し、反対する人間は排除する。その方が「話が早い」と人々は信じている。

でも、日本人はちよつと違う。「いや、悪いねえ。どう、今回はちよつと泣いてくれない？ いや、悪いようにはしないよ。次には必ず埋め合わせするから」みたいなやりとりのことを「仕事」だと称している。欧米のビジネスマンだったら、「そのどろが仕事なんだよ」と怒り出すでしょう。

でも、それはしようがないと思うんです。「相容れない立場をなんとか折り合わせる能力」こそが列島住民が生き延びるために優先的に開発してきた資質なんですから。列島民たちはそういう生存戦略で2000年くらいやつてきたわけで、いまさら変えろといわれても無理ですよ。

ですから、「最近、自由がなくなつてきたと感じる」という声があつたそうですけれど、僕はそれは違うと思います。

【II】

僕が学生だつた時代、1960年代末から1970年代初め大学はほとんど無法地帯だつたわけですが、それでも「無法」ではあつたけれど、「自由」ではなかつた。だつて、どういふふうにな「無法」にふるまうかについて定型があつて、それに従わないと処罰されたから。それは校則が煩わしいと言つて反抗する高校生たちの反抗の仕方がC的であるのと同じです。「型にはまりたくない」と言う少年少女たちがC的な服装をして、C的な言葉遣いをして「定型に反抗する」。そのどろに「自由」があるんだろうと思います。【III】

でも、僕はそれが「悪い」と言つているわけじゃないんですよ。そういうC的な生き方をする人たちが求めているものは「自由」ではないと申し上げているだけです。たぶん彼らが

求めているのは、ある種の「調和」なんだと思います。「調和」と「自由」とはまったく別物です。そして、日本人は「調和」のうちに安らぐことを、ヨーロッパ人が「自由」のうちに安らぐことを求めるのと同じくらい切実に求めているのであって、それはそれで一つの「種族の文化」だと僕は思っているのです。

【Ⅳ】

(内田樹『生きづらさについて考える』より。)

- (注) 1 大岡裁きの「三方一両損」—— 古典落語の演目の一つ。江戸時代中期、名奉行と称えられた大岡越前守が、三両拾った者とそれを落とした者とが、互いにその三両は相手の金だと言い争った際、自分が手持ちの一面を出して加え、落とした者と拾った者とに、正直者だからと二両ずつ与え、落とした者、拾った者、奉行の三人が一両ずつ損をしたという形で、言い争いを解決する話。
- 2 ソリユーション—— ここでは、解決のこと。
- 3 サンデル教授の「ハーバード白熱教室」—— ハーバード大学教授であるマイケル・サンデル（一九五三年〜）の「政治哲学」の講義を、アメリカの公共放送局が収録して製作した動画。
- 4 アジェンダ—— 提案内容。

問 1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それ

ぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

(ア) リフジ^ン

- ① 投書にジ^ンソクに対応する
- ② 目標達成に向けてジ^ンリョクする
- ③ その時の被害はジ^ンダイだった
- ④ ジ^ンセキ未踏の地だと言われている

(イ) ソウサ^イ

- ① サツバツとした光景
- ② コサツを訪れて本堂を拝見する
- ③ 借金をすべてヘ^ンサイし終えた
- ④ 円高で事業のサイ^ンサンが取れない

(ウ) マチ

- ① ガイブ^ンを気にしないで生きる
- ② ダンガイ絶壁に立つと足がすくむ
- ③ うれし涙でシ^カイがぼやける
- ④ 出世カ^イドウまつしぐらだが多忙だ

(エ) ソウジ^て

- ① ソウギョウ時間を短縮する
- ② 全員のソウ^イに基づいて決定する
- ③ 条約のソウ^アンを関係者で検討する
- ④ 思わずソウ^ゴウを崩す

(オ) ヤボ

- ① 配達員キョウ^ボのポスター
- ② 亡き祖父をシ^ボする
- ③ あたりがボ^ショクに包まれた
- ④ 祖母のボ^センに花を供える

問2 傍線部A「一種の『ニュートラル』状態を達成したときに、日本人はなぜか深い満足感を覚える」とあるが、「日本人」が「深い満足感を覚える」理由を筆者はどのように考えているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 地理的歴史的に、外国から次々と新しい集団が到来し、新しい文物が流入してきた日本人は、そのつど対立せず、排除せず、折り合いをつけてきており、集団の中で自分が中立的立場で調整役を果たせたときに、解放感と達成感を覚えるから。
- ② 集団の中でみんなの要請を調整するためにひたすら我慢をして調整役に徹するという、日本における問題解決のもっとも成熟したマナーを駆使して得た対立のない平和な集団の状態こそが、日本人にとってもっとも望ましい状態だから。
- ③ 集団の中で、意見の対立する人相互の要求を聞きながら、妥協点を見つけて対立を収めることは、日本列島の住民である日本人が生き延びるために優先的に開発してきた資質であり、対立のない状態こそが日本人が願っている集団の状態だから。
- ④ 原理を貫徹する、信教や思想に殉じるということをあまり好まず、それよりは非妥協的な対立を折り合わせる調整能力が尊ばれる日本では、その調整能力を発揮し終えて、一休みできるときこそが、もっとも肩の荷が下りて気が楽になるときだから。

問3 空欄 (二か所)・空欄 (四か所) に入る語句として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

- B ① 孤独 ② 変人 ③ 凡人 ④ 天才
- C ① 反抗 ② 定型 ③ 一般 ④ 没個性

問4 次に示すのは、本文を読んだ後に、四人の生徒が話し合っている場面である。本文の読み取りに関する内容として**適当でない箇所がある発言を、①～④のうちから一つ選べ。**
解答番号は 。

- ① 生徒A——「大岡裁き」って、テレビで見たことがある気がするんだけど、本当に名奉行だね。その後に、ハリウッド映画の中では、『あつと驚く落としどころ』を提案する上司」を見るのがまずないとあつたけれど、大岡越前守って、まさに、「あつと驚く落としどころ」で解決しているよね。
- ② 生徒B——法律的に何が正しいかということを考えるのではなく、二両を落とした人と拾った人の、両方の言い分すべてに耳を傾けて、対立している二人のどちらもが納得する方法を考えただね。サンデル教授に「さあ、正解はどつちだ」と切り立てられたら、大岡越前守だったらどうするんだらう。
- ③ 生徒C——筆者が言うように、「白熱しない」方向に誘い込もうとするんじゃない？ あ！ 大岡裁きの話の前に、「それは正解を得るための方法ではないのです。いざこざを避けるための作法です。」ってあるでしょ。筆者は、「正解を得るため」ではなくて、「いざこざを避けるための作法」の一例として、「三方一両損」を挙げただね。
- ④ 生徒D——この少し後に、『いや、悪いねえ。……いや、悪いようにはしないよ。次には必ず埋め合わせするから』みたいなやりとりのことを『仕事』だと称している」ビジネスマンの例もあつたね。欧米のビジネスマンも、反対する人を排除したりせずに、そんなふうに仕事を進めた方が「話が早い」はずなんだね。

問5 次の一文は本文からぬき出したものである。これを戻す位置として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。
自由なんか前からなかつたんだから。

- ① 【I】 ② 【II】 ③ 【III】 ④ 【IV】

問 6 筆者の主張の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「最近、自由がなくなってきたと感じる」という人がいるそうだが、確かに日本にはヨーロッパ的な意味での「自由」はないといえると思う。しかし、日本には「自由」はなくても、「調和」のうちに安らぐ文化が根付いているのだ。
- ② 「周りを気にしない」ヨーロッパ人を見ると、「ああ、これが自由というものなんだな。日本人にはないなあ」とつくづく思うが、それは決して卑下することではない。日本には古来「調和」を求める心があることを知り、それを誇りに思うとよい。
- ③ 日本列島に住む日本人は、長い歴史の中で「調和」のうちに安らぐ文化を構築してきた。だから日本人がほんとうに求めている「自由」は、ヨーロッパ的な意味での「自由」ではなく、「調和」のうちにある日本的な「自由」なのだ。
- ④ 日本人は「調和」のうちに、ヨーロッパ人は「自由」のうちに安らぐことを切実に求めている。どちらも一つの「種族の文化」なので、それぞれにそれぞれの文化を守っていくべきで、「自由」がないと嘆くべきではない。

三 次の問い（問1～9）に答えよ。解答番号は ～ 。

問1 次のア～ウの文の説明にあてはまる語句として最も適当なものを、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

ア 人間が目的をもってする行為。

① 人為 ② 営為 ③ 無為 ④ 当為

イ 故郷を懐かしく思う気持ち。

① 郷愁 ② 哀愁 ③ 遠望 ④ 望見

ウ ひと続きのものをいくつかに区切って分けること。

① 分析 ② 分断 ③ 分界 ④ 分節

問2 次のア～ウの意味を表す語句として最も適当なものを、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

ア 無意味・ばかげていること。

① アフォルリズム ② ニヒリズム ③ アイロニー ④ ナンセンス

イ 主義・思想。

① イデオロギー ② ドグマ ③ ログス ④ アイデンティティ

ウ 宇宙論・宇宙観。

① コスモロジー ② アナロジー ③ カオス ④ コモンセンス

問3 次のア・イの文を敬語表現に改めた場合、敬語の使い方が誤っているものを、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

ア 客が食事を食べている。

① お客様が食事をとっていらつしやる。
② お客様がお食事をなさっている。
③ お客様が食事を召し上がっている。
④ お客様がお食事をいただいております。

イ 私が先生の家に行きます。

① 私が先生のお宅に参ります。
② 私が先生の拙宅においで申し上げます。
③ 私が先生のおうちに伺います。
④ 私が先生のお宅に行かせていただきます。

問4 次のア・イの傍線部の単語の品詞名として最も適当なものを、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

ア 宴だけなわの時ですが、そろそろお開きにしたいと思います。

イ あらゆる角度から考えてみよう。

- ① 名詞 ② 副詞 ③ 連体詞 ④ 形容動詞

問5 次の各文の傍線部（副詞）のうち、種類が他と異なるものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 音をたてないようにそつとドアを開けた。
② 電気を消したとたん、ふと名案が浮かんだ。
③ おそろく彼の言う通りだろうと思う。
④ やがてきれいな花が咲くだろう。

問6 次の各文の傍線部のうち、使い方が誤っているものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 君たちは犬猿の仲だと聞いていたが、ほんとは仲良しなんだね。
② さすがお婆あちやん、亀の甲より年の功だね。
③ 気の置けない君だからこそ、相談に乗ってほしい。
④ 枯れ木も山のにぎわいと言います。先生も是非出席してください。

問7 次の四字熟語のうち、自然の風景の美しさを表す語として**適当でないもの**を、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 山紫水明 ② 白砂青松 ③ 深山幽谷 ④ 明鏡止水

問8 次の四字熟語のうち、この世ははかないものであるという意味を表す語として**適当でないもの**を、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 栄枯盛衰 ② 会者定離 ③ 因果応報 ④ 諸行無常

問9 次のうち、苦勞して学んだ成果という意味を表す故事成語として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 蜚雪の功 ② 出藍の誉れ ③ 青雲の志 ④ 登竜門

国語① 解答一覧と配点案

大問	番号	正解
一 35点	1	②
	2	①
	3	③
	4	①
	5	③
	6	③
	7	④
	8	①
	9	④
	10	②
	11	③
	12	①
二 35点	13	②
	14	①
	15	④
	16	②
	17	③
	18	③
	19	③
	20	②
	21	④
	22	②
	23	①
三 30点	24	②
	25	①
	26	④
	27	④
	28	①
	29	①
	30	④
	31	②
	32	①

	33	③
	34	③
	35	④
	36	④
	37	③
	38	①